

少数台数のリコール届出の公表について（平成17年2月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年2月は下記のとおり11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：トライアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月15日	外1202	車 名：トライアンフ 型 式：SMTTLC10 通称名：ロケットスリー	17	平成16年7月30日～ 平成16年11月5日
不具合の部位等	ファイナルドライブユニットにオイルシールを組み付ける際、緩み防止剤を余分に塗布したため、オイルシールを損傷させることがある。そのためファイナルドライブユニットからオイル漏れが発生し、そのままの状態で使用続けるとファイナルドライブギアが焼き付き、走行不能に至るおそれがある。			

2. 届出者：ヤンマー建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月17日	1358	車 名：ヤンマー 型 式：L1DA 通称名：V1-1A	9	平成16年11月1日～ 平成16年12月1日
不具合の部位等	ケーブル式ブレーキにおいて、ブレーキペダル及び駐車ブレーキレバーとブレーキカムレバーを繋いでいるそれぞれのケーブルのニップルエンドのかしめが不適切なものがあるため、ブレーキ操作をした時にニップルエンドが外れ、主ブレーキまたは駐車ブレーキが作動しなくなるおそれがある。			

3. 届出者：本田技研工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月17日	1362	車 名：ホンダ 型 式：BA-MF08 通称名：フォルツァ	38	平成16年11月16日～ 平成16年11月19日
不具合の部位等	エンジン製造工程でオイルの注入作業が不適切なため、ミッションオイルが注入されていないものがある。そのため、そのまま使用続けると、ミッション内部の軸受ベアリングが高温となり、当該ベアリングが破損し、走行不能となるおそれがある。			

4. 届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月21日	1363	車 名：小松 型 式：M156等 通称名：-	57	平成10年9月1日～ 平成16年5月14日
不具合の部位等	前後進の切換スイッチ及び速度の切換スイッチの電気回路が不適切なため、切換え操作を繰り返し行くと、当該スイッチの接点が磨耗し、接触不良となることがある。そのため、スイッチを操作しても電流が流れず、走行できなくなるおそれがある。			

5．届出者：帝國纖維株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月21日	外1208	車 名：MAN 型 式：不明 通称名：パンター・8×8	9	平成10年8月1日～ 平成16年10月31日
不具合の部位等	前々車軸のトルクロッドをフレームに固定するブラケットとフレームの溶接が不適切なため、走行中の車両の振動等により当該溶接部に亀裂が生じるのがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ブラケットが外れ、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

6．届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月22日	1366	車 名：三菱 型 式：U-FE507B等 通称名：ふそうキャンター	63	平成6年1月31日～ 平成7年9月5日
不具合の部位等	後軸の右側ブレーキ配管の取りまわしが不適切なため、走行中にショックアブソーバと当該ブレーキ配管が干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブレーキ配管が損傷し、最悪の場合 ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。			

7．届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月22日	1367	車 名：三菱 型 式：KC-MP317K等 通称名：ふそうエアロスター	83	平成9年3月23日～ 平成11年2月8日
不具合の部位等	右前輪のブレーキホースの取付金具に異なったものを使用したため、ホースの取り回しが不適切となり、車体のバウンド時に当該ブレーキホースがドラックリンクに干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が洩れて、制動力が低下するおそれがある。			

8．届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月25日	1370	車 名：TCM等 型 式：S32等 通称名：L27等	93	平成16年1月5日～ 平成17年2月14日
不具合の部位等	警音器の取付けブラケットの強度が不足しているため、走行時等の共振により当該ブラケットに亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行して警音器の音色が変化し、最悪の場合、警音器が脱落するおそれがある。			

9. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月28日	1371	車名：三菱 型式：GE-FE533BA 通称名：ふそうキャター	13	平成11年6月8日～ 平成11年7月15日
不具合の部位等	液化石油ガス（LPG）を燃料とする小型トラックの燃料パイプを固定する際に、誤った金具を装着したため、当該金具付近にある変速機の変速ロッドと燃料パイプが干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料パイプが損傷し、最悪の場合、燃料（LPG）が漏れるおそれがある。			

10. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月28日	1372	車名：三菱 型式：KK-FK61FK等 通称名：ふそうファイター	38	平成11年2月26日～ 平成11年5月13日
不具合の部位等	インストルメントパネル内部に装着された電子制御機器（ECU）の電気配線の取り回しが不適切なため、当該配線とECUを固定する金具が干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が損傷し、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。			

11. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月28日	1379	車名：三菱 型式：U-BE435E等 通称名：ふそうローザ	79	平成4年3月4日～ 平成7年3月17日
不具合の部位等	右フロントブレーキパイプの取り回しが不適切なため、変速時に当該パイプが変速ギアシフトロッドに干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該パイプが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。			

〔参考〕

平成17年2月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	33件	24件	9件
輸入車	10件	8件	2件
計	43件	32件	11件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、久手
電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）